

平成19年度 宗谷シーニックバイウェイ活動報告

- 0. 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(宗谷シーニックバイウェイ)

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2008/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

	ルート運営計画基本方針	ルート運営計画活動内容	活動No	平成19年度 地域活動(総括)
景観	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	景観趣向に応じたビューポイントの発掘及びマップの作成	S Y - 1,2	自分達の住んでいる地域を美しくすることで、来訪者に対するおもてなしの心を表現する活動として、清掃・植栽活動を行っている。また、捨てられる流木を利用したプランターづくり、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントも行っている。また、積極的に勉強会も開催することができた。今後、地域全体で取り組めるように情報提供を行い、キャンペーン化(同日開催、期間を合わせての開催など)することが考えられる。また、勉強会で得た知識・知恵を具体的な活動に結び付けていくことを議論していく必要がある。
		景観のための地場産業との連携	—	
		環境保全を兼ねた清掃活動	S Y - 3,4,5	
	魅せるための景観形成	春・夏・秋の季節に応じた植樹活動	S Y - 7,8,9	
		アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩り	S Y - 6	
		流木を活用したプランター作り	S Y - 3	
	より良い景観整備を目指す	商業看板等の規制など景観整備・保全のためのルール作り	—	
		地元人としての『慣れ』から脱却し、宗谷を再認識するための勉強会の開催	S Y - 10,12,13	
		地域コミュニケーション形成のための、ボランティアの育成	—	
環境	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	宗谷シーニックマイレージ等オリジナルプログラムの提案	S Y - 11	環境と経済の両立を考えたオリジナルツアーの試行を実施できた。今後、カーボンオフセット、外来種混入防止・除去など社会的な状況と地域性を考えたメニューを組み立てて継続的に実施していく必要がある。これらを検討するに当たり、専門家を招聘した勉強会の開催は必要だと考える。
		観光客への啓発活動	—	
	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	環境保全のためのルール作り	—	
		CO2削減のための植林及び植栽活動	—	
		フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止活動の実施	—	
		環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	S Y - 3,4,5	
		道路等に散乱するゴミ処理問題に対する提案	—	
	次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり	宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	S Y - 10,12,13	
		地域の将来を担う子供たちへの教育活動	3	

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2008/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

	ルート運営計画基本方針	ルート運営計画活動内容	活動No	平成19年度 地域活動(総括)
情報	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	S Y - 14	ムーブユー、宗谷シーニック事務局、観光協会窓口によって実施されている。今後、地域の取組みとして連携事業を増やしていくためには、まず、情報交換が必要だと考える。そのためには、関係者が何を行う予定なのか、また、どういう結果だったのかを自主的に発信していく必要がある。次年度以降、この仕組みづくりを検討する必要があると考える。
		情報ボランティア等人材の発掘及び育成	S Y - 16	
	広報戦略としての宗谷シーニックバイウェイデザインの統一	宗谷らしいシンボリティックなデザインの提案	H18完了	
		ルート及び情報発信場所における看板等の設置	—	
	既往の情報発信ツールを活用したオンリーワンな情報発信	既存ツール(さいほくネット等)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信	S Y - 15	
		分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	S Y - 17	
		オンリーワンな情報発信内容・方法の提案	—	
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	情報収集方法の確立に向けたルールづくり	—	継続的に行われているイベントのほかに、新たにイベントが試行・実施されている。これらは、団体間連携により行われており、今後、さらに広がりを見せていべきものだと考える。今後、本道と離島との連携したツアーやイベントづくりを行っていき、対外的に売り込んでいく必要があると考える。
		空港やフェリーターミナル等宗谷の玄関口における花壇・プランター等の整備	S Y - 7	
		「歩いて逢う」をテーマとしたフットパス等の参加型・体験型メニューづくり	S Y - 18	
		稚内北防波堤ドーム及び利尻のライトアップ等第一印象のアピール	—	
		景観趣向に応じたビューポイントマップの作成	S Y - 2	
		ビューポイントを効果的に結ぶルートの策定	—	
		三脚台の設置及び大駐車場を備えたカメラ撮影ポイントの整備	—	
		利尻島の桜等の植栽活動	—	
	『種』から育てる新たな観光の創出	景観整備及び環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	S Y - 3,4,5	
		大牧草地を活用したパークゴルフ等のグリーンツーリズムの実施	—	
		物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	S Y - 19,20	
	シーニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	S Y - 11	
		活動継続に向けた意識改革のための勉強会の実施	S Y - 10,21	
		シーニックバイウェイ活動に対する地域への浸透のためのシンポジウム等の開催	—	
	観光振興・地域づくりイベント	地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	S Y - 3	
			S Y - 22,23,24	

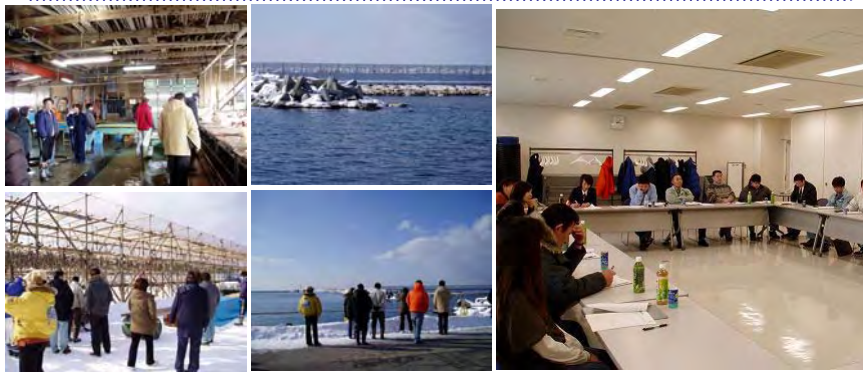
宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-1

冬の景観診断

- 【内 容】 冬の観光資源になりえる景観、施設について把握した。また、道路付属施設等についても把握した。最後に宗谷地域の景観に関する意見交換を行った。
- 【日 時】 平成20年1月29日（火） 10:00～16:30
- 【場 所】 稚内市内（国道40号、国道238号、道道106号、道道254号）
- 【主 催】 宗谷シーニックバイウェイ景観分科会、稚内開発建設部
- 【参加人数】 20名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-2

マップの検討

- 【内 容】 マップを作成するために、宗谷シーニックバイウェイにおけるビューポイント等の情報を収集・整理している。
- 【日 時】 平成19年度
- 【場 所】 宗谷シーニックバイウェイルート内
- 【主 催】 宗谷シーニックバイウェイ景観分科会
- 【参加人数】 10名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-3

彩りプロジェクト2007

- 【内 容】 稚咲内（ワカサカナイ）海岸約1 kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。
- 【日 時】 平成19年6月9日（土）、6月16日（日）
- 【場 所】 稚咲内（ワカサカナイ）海岸
- 【主 催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 環境省、宗谷建設青年会、稚内土木現業所、稚内開発建設部、稚内市、未来のくらしと宗谷路を考える会、北星学園大学、稚内高校、稚内商工高校、稚内大谷高校、長友会、新エネルギー研究会
- 【参加人数】 150名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-4

観光繁忙期前の清掃活動

- 【内 容】 観光客の稚内に対する印象を良くするために、観光繁忙期の前に清掃活動を行っている。2tトラック1台分のゴミがでている。
- 【日 時】 平成19年4月15日（日） 10:00～12:00
- 【場 所】 JR稚内駅～フェリーターミナル
- 【主 催】 稚内観光協会青年部
- 【参加人数】 9名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-5

利尻町沿道清掃

- 【内 容】利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃を行った。
 【日 時】平成19年5月8日（火） 10:00～12:00
 【場 所】利尻町内一円
 【主 催】利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会
 【協力協賛】利尻町観光協会、利尻ロータリークラブ
 【参加人数】100名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-6

彩北わっキャナイト2008

- 【内 容】北防波堤ドームを約1,500個のスノーキャンドルで彩る。各団体、町内会等と連携を図り、全市的な活動となりつつある。
 【日 時】平成20年2月9日（土）
 【場 所】北防波堤ドーム
 【主 催】稚内みなとまちづくり懇談会
 【協力協賛】稚内土木現業所、稚内開発建設部、稚内市、稚内異業種交流会、稚内観光協会、北星学園大学、稚内高校、稚内商工高校、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、稚内商工会議所中央商店街、北武建設、藤建設、中田組、稚商、横澤組
 【参加人数】準備150名、来場者200名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-7

稚内空港線植栽

- 【内 容】稚内空港前植樹帯（約800m）に約3,000株の花を植えた。（マリーゴールド、キキョウ、ルピナス）
- 【日 時】平成19年5月26日（土）、7月21日（土）
- 【場 所】稚内空港前
- 【主 催】フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】稚内土木現業所、稚内開発建設部、稚内市、宗谷建設青年会、未来のくらしと宗谷路を考える会、稚内観光協会青年部、稚内みなとまちづくり懇談会
- 【参加人数】100名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-8

宗谷支庁合同植樹

- 【内 容】平成16年、17年に植樹したサクラに追肥を行った。
- 【日 時】平成19年11月10日（土）
- 【場 所】稚内市末広 天北緑地公園
- 【主 催】扇の会（宗谷支庁部課長会）、宗谷建設青年会
- 【参加人数】29名



SY-9

宗谷植樹祭

【参加人数】170名



SY-10

宗谷の未来を考える勉強会

【参加人数】45名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-11

エコレージ

【内 容】エコレージとは、観光と環境の両立を考えた仕組みづくりを行う試行した。今回は、エネルギー施設の視察、ハイブリットカーによる移動、植樹などを通じて、環境学習を体験しながら、環境負荷を減らす意識啓発、環境を保全するために訪問者が負担できるメニュー（資金・活動）を調査・研究した。

【日 時】平成19年11月10日（土）～11月11日（日）

【場 所】稚内市、豊富町

【主 催】未来のくらしと宗谷路（ネットワーク）を考える会

【協力協賛】稚内観光協会、豊富町観光協会、NPO法人ムーブ・ユー

【参加人数】22名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-12

花大陸Hokkaido彩北の花フォーラムwith宗谷シーニックバイウェイ

【内 容】午前には礼文島の花を見るトレッキングを体験、午後から外来種除去活動や花を活かした地域づくりなどについて話し合われた。

【日 時】平成19年8月25日（土） 8:30～トレッキング 14:00～トークセッション

【場 所】礼文町

【主 催】礼文町、北海道

【参加人数】50名



SY-13

環境フォーラム

【参加人数】 60名



SY-14

観光案内所情報交換

【主催】宗谷シーニックバイウェイ情報分科会、稚内・利尻富士・利尻・礼文・豊富・猿払各観光協会

[illegible]

＜発行者＞
 東京シーニックバイオウエイ情報分科会、屋内観光協会
 〒105-2749 東京都港区赤坂2-10-11 TEL 03-62-74-210 FAX 03-62-74-0018

宗谷シーニックバイウェイ

SY-15

SOYA Scenic Byway

地域の景観写真・動画の撮影

- 【内 容】景観やイベントの写真・動画の撮影を行っている。地域での広報やPRツールへの活用が考えられる。
- 【日 時】平成19年度
- 【場 所】宗谷
- 【主 催】NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー
- 【参加人数】10名



宗谷シーニックバイウェイ

SY-16

SOYA Scenic Byway

ホームページ運営・管理

- 【内 容】さいほくネット及び宗谷シーニックバイウェイブログの管理を行っている。特に地域の情報発信を行う「ぶちコミ」情報にメンバーが投稿をしている。
- 【日 時】平成19年度
- 【場 所】ホームページ
- 【主 催】NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー
- 【参加人数】5名



宗谷シーニックバイウェイ

SY-17

SOYA Scenic Byway

ニュースレターの発行

- 【内 容】 イベント等が開催されたときにニュースレターを発行し、ルート内の情報共有を図った。
- 【日 時】 平成19年度
- 【場 所】 メール
- 【主 催】 宗谷シーニックバイウェイ事務局



宗谷シーニックバイウェイ

SY-18

SOYA Scenic Byway

利尻島一周悠遊覧人G（ゆうゆうらんになんぐ）

- 【内 容】 利尻島一周55kmを制限時間10時間以内に完走する。大会前日には参加者、地元の人との交流会がある。
- 【日 時】 平成19年6月3日（日）
- 【場 所】 利尻島開発総合センターをスタート、ゴールとして一周
- 【主 催】 利尻島一周悠遊覧人G実行委員会
- 【協力協賛】 利尻町、利尻富士町、教育委員会、体育協会、観光協会、各企業商店、ANA、アサヒビール、石屋製菓、大塚製菓
- 【参加人数】 225名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-19

日本海VSオホーツク海グルメバトル

- 【内 容】日本海とオホーツク海の海の幸でそれぞれ大鍋を作って、どちらがおいしいかを対決する。夜の観光振興プロジェクトの中で新たに考えられたイベント。
- 【日 時】平成19年9月14日（金）～9月16日（日）
- 【場 所】北防波堤ドーム
- 【主 催】稚内観光協会
- 【参加人数】1,639名（3日間の延べ人数）



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-20

居酒屋てっぺん

- 【内 容】海産物メインの特別居酒屋開店。ドーム特設会場内の炭火で楽しんでいただいた。
- 【日 時】平成19年9月14日（金）～9月16日（日）
- 【場 所】北防波堤ドーム
- 【主 催】稚内観光協会
- 【参加人数】2,127名（3日間の延べ人数）



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-21

合同キャンペーン、宗谷観光懇談会(意見交換会)

- 【内 容】キャンペーン：東京・名古屋のエージェントに対し、各地域のプレゼンテーションを行い、意見交換をした。
観光懇談会：首都圏のエージェント15名が稚内に来て宗谷の観光関係者と意見交換を行った。
- 【日 時】キャンペーン：平成19年9月25日（火）～9月28日（金）
観光懇談会：平成20年1月22日（火）
- 【場 所】キャンペーン：東京、名古屋
観光懇談会：稚内市
- 【主 催】宗谷シーニックバイウェイ観光分科会
- 【参加人数】キャンペーン：10名
観光懇談会：ANA2名、エージェント15名、宗谷80名



宗谷シーニックバイウェイ

SOYA Scenic Byway

SY-22

利尻島一周ふれあいサイクリング大会

- 【内 容】利尻島の景観を楽しみながら一周する大会で、ゴール後には温泉でリフレッシュする参加者が多い。
- 【日 時】平成19年8月26日（日）
- 【場 所】利尻島サイクリングロード及び道道
- 【主 催】利尻島サイクリングロードイベント実行委員会
- 【協力協賛】東日本海フェリー（株）、宗谷バス（株）、地元漁協、交通安全協会、観光協会、体育協会、宿泊業組合、商工会、建設協会、（社）北海道土木協会、各企業商店
- 【参加人数】286名



宗谷シーニックバイウェイ

SY-23

SOYA Scenic Byway

雪ん子広場、りしり寒飲まつり

- 【内 容】 こども向けゲーム（親子そり引き、雪上ホッケー、輪投げ）、高齢者向けゲーム（雪中パークゴルフ、宝引き）、カラオケ大会、抽選会、各種露店
- 【日 時】 雪ん子広場：平成20年2月10日（日）
寒飲まつり：平成20年2月17日（日）
- 【場 所】 雪ん子広場：公民館前広場
寒飲まつり：開発センター広場
- 【主 催】 利尻富士町、教育委員会、観光協会、商工会、各企業商店
- 【参加人数】 雪ん子広場：300名、寒飲まつり：500名



宗谷シーニックバイウェイ

SY-24

SOYA Scenic Byway

利尻山麓歩くスキー大会

- 【内 容】 12km、8km、4kmの各コースを冬の利尻の雄大さを眺めながら、親子、家族、友人とともにスキーで歩く
- 【日 時】 平成20年3月9日（日）
- 【場 所】 多目的グラウンド～特設コース
- 【主 催】 利尻歩くスキーの会
- 【協力協賛】 教育委員会、体育協会、観光協会、商工会
- 【参加人数】 41名



1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
・地域活動に関する報告(宗谷シーニックバイウェイ)

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ			報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生			報告年月:2008/3/31				
	基本方針	ルート運営計画活動内容	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括	
雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる		景観趣向に応じたビューポイントの発掘及びマップの作成	S Y - 1	冬の景観診断	宗谷シーニックバイウェイ景観分科会	平成20年1月29日	20	冬期の観光資源になりえる景観、施設について把握した。また、道路付属施設等についても把握した。最後に宗谷地域の景観に関する意見交換を行った。	自分達の住んでいる地域を美しくすることで、来訪者に対するおもてなしの心を表現する活動として、清掃・植栽活動を行っている。また、捨てられる流木を利用したプランターづくり、冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベントも行っている。また、積極的に勉強会も開催することができた。今後、地域全体で取り組めるように情報提供を行い、キャンペーン化(同日開催、期間を合わせたの開催など)することが考えられる。また、勉強会で得た知識・知恵を具体的な活動に結び付けていくことを議論していく必要がある。	
			S Y - 2	マップの検討	宗谷シーニックバイウェイ景観分科会	平成19年度	10	マップを作成するために、宗谷シーニックバイウェイにおけるビューポイント等の情報を収集・整理している。		
		景観のための地場産業との連携		実施せず	—	—	—	—		
		環境保全を兼ねた清掃活動	S Y - 3	彩りプロジェクト2007	稚内みなとまちづくり懇談会	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。		
			S Y - 4	観光繁忙期前の清掃活動	稚内観光協会青年部	平成19年4月15日	9	観光客の稚内に対する印象を良くするために、観光繁忙期の前に清掃活動を行っている。2トラック1台分のゴミがでている。		
			S Y - 5	利尻町沿道清掃	利尻町観光協会	平成19年5月8日	100	利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃を行った。		
		景観 魅せるための景観形成	春・夏・秋の季節に応じた植樹活動	S Y - 7	稚内空港線植栽	フラワーマスター稚内	平成19年5月26日 平成19年7月21日	100		稚内空港前植樹帯(約800m)に約3,000株の花を植えた。(マリーゴールド、キキョウ、ルピナス)
				S Y - 8	宗谷支庁合同植樹	宗谷建設青年会	平成19年11月10日	29		平成16年、17年に植樹したサクラに追肥を行った。
S Y - 9	宗谷植樹祭			宗谷建設青年会	平成19年6月10日	170	第58回 全国植樹祭 北海道開催記念「宗谷植樹祭」が枝幸町の問牧地区町有地で開催された。宗谷建設青年会から4名参加。			
アイスクャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩り	S Y - 6		彩北わっキャナイト2008	稚内みなとまちづくり懇談会	平成20年2月9日	200	北防波堤ドームを約1,500個のスノーキャンドルで彩る。各団体、町内会等と連携を図り、全市的な活動となりつつある。			
流木を活用したプランター作り	S Y - 3		彩りプロジェクト2007	稚内みなとまちづくり懇談会	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。			
	商業看板等の規制など景観整備・保全のためのルール作り		実施せず	—	—	—	—			
		S Y - 10	宗谷の未来を考える勉強会	未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会	平成20年3月14日 ～3月15日	45	稚内市の基幹産業である「水産」「酪農」「観光」に、近年取組みが活発になっている「サハリン」「エネルギー」というキーワードを加えて、宗谷(稚内)の未来像を考える勉強会を実施。			

ルート名称:宗谷シーニックバイウエイ	報告者:宗谷シーニックバイウエイ代表 岩間 幹生	報告年月:2008/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

	基本方針	ルート運営計画活動内容	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括
環境	より良い景観整備を目指す	地元人としての『慣れ』から脱却し、宗谷を再認識するための勉強会の開催	S Y - 12	花大陸Hokkaido彩北の花フォーラム with宗谷シーニックバイウエイ	礼文町観光協会	平成19年8月25日	50	午前は礼文島の花を見るトレッキングを体験、午後から外来種除去活動や花を活かした地域づくりなどについて話し合われた。	
			S Y - 13	環境フォーラム	宗谷シーニックバイウエイ環境分科会	平成19年10月9日	60	地球環境と人との共生共存の理念である近自然学やその実践についてわかりやすく解説していただき、豊かさと環境との両立を目指した活動や暮らしのあり方を考えている。	
		地域コミュニケーション形成のための、ボランティアの育成		実施せず	—	—	—	—	
	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	宗谷シーニックマイレージ等オリジナルプログラムの提案	S Y - 11	エコレージ	未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会	平成19年11月10日～11月11日	22	今回は、エネルギー施設の視察、ハイブリットカーによる移動、植樹などを通じて、環境学習を体験しながら、環境負荷を減らす意識啓発、環境を保全するために訪問者が負担できるメニュー(資金・活動)を調査・研究した。	環境と経済の両立を考えたオリジナルツアーの試行を実施できた。今後、カーボンオフセット、外来種混入防止・除去など社会的な状況と地域性を考えたメニューを組み立てて継続的に実施していく必要がある。これらを検討するに当たり、専門家を招聘した勉強会の開催は必要だと考える。
		観光客への啓発活動		実施せず	—	—	—	—	
	自慢できる自然・雄大な自然景観の保全	環境保全のためのルール作り		実施せず	—	—	—	—	
		CO2削減のための植林及び植栽活動		実施せず	—	—	—	—	
		フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止活動の実施		実施せず	—	—	—	—	
		環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	S Y - 3	彩りプロジェクト2007	稚内みなとまちづくり懇談会	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。	
			S Y - 4	観光繁忙期前の清掃活動	稚内観光協会青年部	平成19年4月15日	9	観光客の稚内に対する印象を良くするために、観光繁忙期の前に清掃活動を行っている。2tトラック1台分のゴミがでている。	
			S Y - 5	利尻町沿道清掃	利尻町観光協会	平成19年5月8日	100	利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃を行った。	
		道路等に散乱するゴミ処理問題に対する提案		実施せず	—	—	—	—	
	次世代が安心して豊かな生活を	宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	S Y - 10	宗谷の未来を考える勉強会	未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会	平成20年3月14日～3月15日	45	稚内市の基幹産業である「水産」「酪農」「観光」に、近年取組みが活発になっている「サハリン」「エネルギー」というキーワードを加えて、宗谷(稚内)の未来像を考える勉強会を実施。	
			S Y - 12	花大陸Hokkaido彩北の花フォーラム with宗谷シーニックバイウエイ	礼文町観光協会	平成19年8月25日	50	午前は礼文島の花を見るトレッキングを体験、午後から外来種除去活動や花を活かした地域づくりなどについて話し合われた。	

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2008/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

	基本方針	ルート運営計画活動内容	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括
情報	送れる地域づくり		S Y - 13	環境フォーラム	宗谷シーニックバイウェイ環境分科会	平成19年10月9日	60	地球環境と人との共生共存の理念である近自然学やその実践についてわかりやすく解説していただき、豊かさや環境との両立を目指した活動や暮らしのあり方を考えている。	
		地域の将来を担う子供たちへの教育活動	S Y - 3	彩りプロジェクト2007	稚内みなとまちづくり懇談会	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。	
	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	S Y - 14	観光案内所情報交換	宗谷シーニックバイウェイ情報分科会、各観光協会	平成19年6月～9月		情報分科会の連携事業として、稚内観光協会事務局が6月～9月の4ヶ月間、気象・イベント・花情報など窓口に毎日のように情報を流し交換した。	ムーブユー、宗谷シーニック事務局、観光協会窓口によって実施されている。今後、地域の取組みとして連携事業を増やしていくためには、まず、情報交換が必要だと考える。そのためには、関係者が何を行う予定なのか、また、どういう結果だったのかを自主的に発信していく必要がある。次年度以降、この仕組みづくりを検討する必要があると考える。
		情報ボランティア等人材の発掘及び育成	S Y - 15	地域の景観写真・動画の撮影	NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー	平成19年度	10	景観やイベントの写真・動画の撮影を行っている。地域での広報やPRツールへの活用が考えられる。	
	広報戦略としての宗谷シーニックバイウェイデザインの統一	宗谷らしいシンボリックなデザインの提案		実施せず	—	—	—	—	
		ルート及び情報発信場所における看板等の設置		実施せず	—	—	—	—	
	既往の情報発信ツールを活用したオンラインな情報発信	既存ツール(さいほくネット等)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信	S Y - 16	ホームページ運営・管理	NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー	平成19年度	5	さいほくネット及び宗谷シーニックバイウェイブログの管理を行っている。特に地域の情報発信を行う「ぶちコミ」情報にメンバーが投稿をしている。	
		分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のためのシステムづくり	S Y - 17	ニュースレターの発行	宗谷シーニックバイウェイ事務局	平成19年度		イベント等が開催されたときにニュースレターを発行し、ルート内の情報共有を図った。	
		オンラインワンな情報発信内容・方法の提案		実施せず	—	—	—	—	
		情報収集方法の確立に向けたルールづくり		実施せず	—	—	—	—	
		空港やフェリーターミナル等宗谷の玄関口における花壇・プランター等の整備	S Y - 7	稚内空港線植栽	フラワーマスター稚内	平成19年5月26日 平成19年7月21日	100	稚内空港前植樹帯(約800m)に約3,000株の花を植えた。(マリーゴールド、キキョウ、ルピナス)	継続的に行われているイベントのほかに、新たにイベントが試行・実施されている。これらは、団体間連携により行われており、今後、さらに広がりを見せていべきものだと考える。今後、本道と離島との連携したツアーやイベン
		「歩いて逢う」をテーマとしたフットパス等の参加型・体験型メニューづくり	S Y - 18	利尻島一周悠遊覧人G(ゆうゆうらんじんG)	利尻町観光協会、利尻富士町観光協会	平成19年6月3日	225	利尻島一周55kmを制限時間10時間以内に完走する。大会前日には参加者、地元の人との交流会がある。	
		稚内北防波堤ドーム及び利尻のライトアップ等第一印象のアピール		実施せず	—	—	—	—	
		景観趣向に応じたビューポイントマップの作成	S Y - 2	マップの検討	宗谷シーニックバイウェイ景観分科会	平成19年度	10	マップを作成するために、宗谷シーニックバイウェイにおけるビューポイント等の情報を収集・整理している。	

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2008/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

基本方針	ルート運営計画活動内容	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括
観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	ビューポイントを効果的に結ぶルートの策定		実施せず	—	—	—	—	トづくりを行っていき、対外的に売り込んでいく必要があると考える。
	三脚台の設置及び大駐車場を備えたカメラ撮影ポイントの整備		実施せず	—	—	—	—	
	利尻島の桜等の植栽活動		実施せず	—	—	—	—	
	景観整備及び環境保全を兼ねた海岸線での清掃活動	S Y - 3	彩りプロジェクト2007	稚内みなとまちづくり懇談会	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。	
		S Y - 4	観光繁忙期前の清掃活動	稚内観光協会青年部	平成19年4月15日	9	観光客の稚内に対する印象を良くするために、観光繁忙期の前に清掃活動を行っている。2tトラック1台分のゴミがでている。	
		S Y - 5	利尻町沿道清掃	利尻町観光協会	平成19年5月8日	100	利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃を行った。	
	『種』から育てる新たな観光の創出		実施せず	—	—	—	—	
		S Y - 19	日本海VSオホーツク海グルメバトル	稚内観光協会	平成19年9月14日 ～9月16日	1639	日本海とオホーツク海の海の幸でそれぞれ大鍋を作って、どちらがおいしいかを対決する。夜の観光振興プロジェクトの中で新たに考えられたイベント。	
		S Y - 20	居酒屋てっぺん	稚内観光協会	平成19年9月14日 ～9月16日	2127	海産物メインの特別居酒屋開店。ドーム特設会場内の炭火で楽しんでいただいた。	
		S Y - 11	外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会	平成19年11月10日 ～11月11日	22	今回は、エネルギー施設の視察、ハイブリットカーによる移動、植樹などを通じて、環境学習を体験しながら、環境負荷を減らす意識啓発、環境を保全するために訪問者が負担できるメニュー(資金・活動)を調査・研究した。	
シーニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	活動継続に向けた意識改革のための勉強会の実施	S Y - 10	宗谷の未来を考える勉強会	未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会	平成20年3月14日 ～3月15日	45	稚内市の基幹産業である「水産」「酪農」「観光」に、近年取組みが活発になっている「サハリン」「エネルギー」というキーワードを加えて、宗谷(稚内)の未来像を考える勉強会を実施。	
		S Y - 21	合同キャンペーン、宗谷観光懇談会(意見交換会)	宗谷シーニックバイウェイ観光分科会	平成19年9月25日 ～9月28日 平成20年1月22日	97	キャンペーン:東京・名古屋のエージェントに対し、各地域のプレゼンテーションを行い、意見交換をした。 観光懇談会:首都圏のエージェント15名が稚内に来て宗谷の観光関係者と意見交換を行った。	
	シーニックバイウェイ活動に対する地域への浸透のためのシンポジウム等の開催		実施せず	—	—	—	—	
	地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	S Y - 3	彩りプロジェクト2007	稚内みなとまちづくり懇談会	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。	

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月:2008/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

	基本方針	ルート運営計画活動内容	NO	平成19年度の活動内容	活動団体	活動実施日	参加人数	成果及び課題	総括
	観光振興・地域づくりイベント		S Y - 22	利尻島一周ふれあいサイクリング大会	利尻町観光協会、利尻富士町観光協会	平成19年8月26日	286	利尻島の景観を楽しみながら一周する大会で、ゴール後には温泉でリフレッシュする参加者が多い。	
			S Y - 23	雪ん子広場、りしり寒飲まつり	利尻富士町観光協会	平成20年2月10日 平成20年2月17日	800	こども向けゲーム(親子そり引き、雪上ホッケー、輪投げ)、高齢者向けゲーム(雪中パークゴルフ、宝引き)、カラオケ大会、抽選会、各種露店	
			S Y - 24	利尻山麓歩くスキー大会	利尻富士町観光協会	平成20年3月9日	41	12km、8km、4kmの各コースを冬の利尻の雄大さを眺めながら、親子、家族、友人とともにスキーで歩く	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

・行政の事業に関する報告(宗谷シーニックバイウェイ)

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:稚内開発建設部		報告年月:2008/3/31				
	基本方針	平成18年度の活動内容	実施機関	活動実施日	参加人数等	成果及び課題	総括	関連する活動団体
景観	雄大な自然景観及び宗谷らしい産業景観を魅せる	冬の景観診断	稚内開発建設部	平成20年1月29日	20	冬期の観光資源になりえる景観、施設について把握した。また、道路付属施設等についても把握した。最後に宗谷地域の景観に関する意見交換を行った。		宗谷シーニックバイウェイ景観分科会
		彩りプロジェクト2007	(協力協賛)環境省、稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。		稚内みなとまちづくり懇談会
	魅せるための景観形成	稚内空港線植栽	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年5月26日 平成19年7月21日	100	稚内空港前植樹帯(約800m)に約3,000株の花を植えた。(マリーゴールド、キキョウ、ルピナス)		フラワーマスター稚内
		宗谷支庁合同植樹	(協力協賛)宗谷支庁	平成19年11月10日	29	平成16年、17年に植樹したサクラに追肥を行った。		宗谷建設青年会
		彩北わっキャナイト2008	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成20年2月9日	200	北防波堤ドームを約1,500個のスノーキャンドルで彩る。各団体、町内会等と連携を図り、全市的な活動となりつつある。		稚内みなとまちづくり懇談会
		彩りプロジェクト2007	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。		稚内みなとまちづくり懇談会
	より良い景観整備を目指す	豊岩における駐車場整備	稚内開発建設部	平成19年度 平成20年度共用開始	—	駐車場の整備(着工)		宗谷シーニックバイウェイ
		宗谷丘陵における駐車帯整備	稚内土木現業所	平成19年度 平成20年度共用開始	—	駐車場の整備(着工)		宗谷シーニックバイウェイ
		宗谷の未来を考える勉強会	(協力協賛)稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	平成20年3月14日～3月15日	45	稚内市の基幹産業である「水産」「酪農」「観光」に、近年取組みが活発になっている「サハリン」「エネルギー」というキーワードを加えて、宗谷(稚内)の未来像を考える勉強会を実施。		未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会
	環境	住民及び観光客の双方にプラスとなる自然環境及び経済(財布)の両立	エコレージ	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市	平成19年11月10日～11月11日	22	今回は、エネルギー施設の視察、ハイブリットカーによる移動、植樹などを通じて、環境学習を体験しながら、環境負荷を減らす意識啓発、環境を保全するために訪問者が負担できるメニュー(資金・活動)を調査・研究した。	
自慢できる自然・雄大な自然景観の保全		彩りプロジェクト2007	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。		稚内みなとまちづくり懇談会
次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり		宗谷の未来を考える勉強会	(協力協賛)稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	平成20年3月14日～3月15日	45	稚内市の基幹産業である「水産」「酪農」「観光」に、近年取組みが活発になっている「サハリン」「エネルギー」というキーワードを加えて、宗谷(稚内)の未来像を考える勉強会を実施。		未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会
	彩りプロジェクト2007	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。		稚内みなとまちづくり懇談会	

情報	宗谷人の心・温かさを感じる管内での情報発信	—	—	—	—	—		
	広報戦略としての宗谷シーニックバイウェイデザインの統一	—	—	—	—	—		
	既往の情報発信ツールを活用したオンリーワンな情報発信	—	—	—	—	—		
観光	観光客の心に残る宗谷の旅の演出づくり	稚内空港線植栽	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年5月26日 平成19年7月21日	100	稚内空港前植樹帯(約800m)に約3,000株の花を植えた。(マリーゴールド、キキョウ、ルピナス)		フラワーマスター稚内
		利尻島一周悠遊覧人G(ゆうゆうらんにんぐ)	(協力協賛)利尻町、利尻富士町	平成19年6月3日	225	利尻島一周55kmを制限時間10時間以内に完走する。大会前日には参加者、地元の人との交流会がある。		利尻町観光協会、利尻富士町観光協会
		彩りプロジェクト2007	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。		稚内みなとまちづくり懇談会
	『種』から育てる新たな観光の創出	エコレージ	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市	平成19年11月10日～11月11日	22	今回は、エネルギー施設の視察、ハイブリットカーによる移動、植樹などを通じて、環境学習を体験しながら、環境負荷を減らす意識啓発、環境を保全するために訪問者が負担できるメニュー(資金・活動)を調査・研究した。		未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会
	シーニックバイウェイ活動の継続及び地域への浸透	宗谷の未来を考える勉強会	(協力協賛)稚内開発建設部、宗谷支庁、稚内市	平成20年3月14日～3月15日	45	稚内市の基幹産業である「水産」「酪農」「観光」に、近年取組みが活発になっている「サハリン」「エネルギー」というキーワードを加えて、宗谷(稚内)の未来像を考える勉強会を実施。		未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会
		彩りプロジェクト2007	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内土木現業所、稚内市	平成19年6月9日 平成19年6月19日	150	稚咲内(ワカサカナイ)海岸約1kmを清掃し、集めた流木でプランターを作製している。		稚内みなとまちづくり懇談会

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・宗谷シーニックバイウェイ

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生	報告年月: 2008/3/31
---------------------	---------------------------	-----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	事務局	ニュースレ ター発行	4/12 4/30	5/17	6/11 6/22				10/2	11/21					
	代表者会議の開催					7/9									
	幹事会の開催			5/16 礼文				9/7 悪天候中止	10/29						
	分科会等						8/3 景観分科会	9/25～ 観光分科会 合同キャン ペーン	10/9 環境フォー ラム			1/22 観光分科会 懇談会 1/29 景観診断	2/14 ワークショッ プ		
参加人数						22人	12人						15人		

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 稚内開発建設部	報告年月: 2008/3/31
---------------------	--------------	-----------------

	基本方針		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の開催										12/7				
参加人数											15人				

4. 審査委員会意見に関する報告

・宗谷シーニックバイウェイ

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ	報告者: 宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生/稚内開発建設部	報告年月: 2008/3/31
---------------------	-----------------------------------	-----------------

		宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議の報告	宗谷シーニックバイウェイルート行政連絡会議の報告	備考
宗谷シーニックバイウェイ	地域特性の活用: 北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保	・宗谷の未来を考える勉強会の開催 (SY-10) ・エコレージにおけるクリーンエネルギー関係団体との連携 (SY-11)	・宗谷の未来を考える勉強会の開催 (SY-10)	
	景観への取り組み: 景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	・景観診断の実施 (SY-1) ・彩りプロジェクト2007の実施における高校生の参加 (SY-3)	・景観診断の実施 (SY-1) ・彩りプロジェクト2007の実施における高校生の参加 (SY-3)	
	自然に与えられた景観の活用に加え、まちなかの建物・看板等の規制や指導などの検討	—	—	
	既存観光地からの脱却を目指し、歴史文化資源の活用、食文化、レクリエーション資源など幅広く地域の個性を生かした新たなツーリズムの展開に向けた取り組みの実施	・エコレージによる新たなドライブ観光の試行 (SY-10) ・日本海VSオホーツク海グルメバトルによる新たな食の可能性 (SY-19)	—	
	持続性の確保: 参加する各主体 (国、道、市町村、活動団体、住民) による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	・宗谷の未来を考える勉強会の開催による講師のアドバイス (SY-10) ・環境フォーラムの開催による講師のアドバイス (SY-13)	・宗谷の未来を考える勉強会の開催による講師のアドバイス (SY-10) ・環境フォーラムの開催による講師のアドバイス (SY-13)	
	ホスピタリティ向上: 研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	—	—	
	全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	・合同キャンペーン、宗谷観光懇談会の実施による意見交換 (SY-21)	—	
	開かれた運営体制: 継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	・宗谷の未来を考える勉強会における関係団体との情報交換 (SY-10) ・エコレージにおけるクリーンエネルギー関係団体との連携 (SY-11)	・宗谷の未来を考える勉強会における関係団体との情報交換 (SY-10) ・エコレージにおけるクリーンエネルギー関係団体との連携 (SY-11)	

5. 平成18年度活動報告への助言に対する状況報告

・宗谷シーニックバイウェイ

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイ代表 岩間 幹生/稚内開発建設部	報告年月:2008/3/31
--------------------	----------------------------------	----------------

平成18年度活動報告への助言	平成19年度状況報告	備考
【代表者会議】 変動する社会情勢を踏まえつつ、ルート運営活動計画の更新を検討されたい。	■急増する外国人観光の対応 日本風景街道の支援制度において、宗谷シーニックバイウェイの外国人対応パンフレットの作成を行った。作成に当たり、各地の資源の特徴を明確に説明できるものとしている。地域におけるコミュニケーション、サインの設置など課題が多いため、今後、整理し検討していくものとする。 ■地球環境への配慮 エコレージにおいて太陽光発電、風車という持続可能なエネルギーをメニューに組み込んだツアープログラムを試行している。環境学習という考え方をしており、参加者からは概ね好評だったため、関係機関との連携を強め、更なる検討を続けていきたい。	
【行政連絡会議】 ルート運営の更なる充実に向け、各ルートの状況に応じて、行政連絡会議における積極的な取組を期待する。	今年度は代表者会議の回数が少なく、代表者会議の状況を知りえる機会が少なかったため、具体的な取組を検討できていない。今後、積極的に代表者会議の取組状況を把握し、連携できる活動について整理する。	